



2023年度 1月号

桜丘だより



2024年1月15日 西脇市立桜丘小学校

〒679-0322 西脇市黒田庄町石原 1470

TEL 28-2203 FAX 28-2992

sakurasyo-vp@city.nishiwaki.ed.jp

かけがえのない命 ～阪神淡路大震災から29年、能登半島地震に思う～

学校長 柳川瀬 輝彦

元日。今年は例年になく暖かいお正月。初詣に行くと、とても多くの人で賑わっていました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されて初めてのお正月だったからでしょうか、昨年、一昨年以上に多くの人だったように思います。

そんな中、思いもよらないニュースが舞い込んできました。石川県で震度7の大地震が発生し、大津波警報が発令されたというのです。震度7と聞いた時、全身がこわばり、29年前のあの日が瞬時に蘇りました。倒壊家屋が多くあるのではないかと。火事が発生していないか。原発は大丈夫だろうか。さらに、本校の子どもたちが、帰省や旅行等により被害にあってははいないだろうか。様々な不安がふくらむ中、夜が更けていきました。翌二日、安否確認も兼ねて、学校連絡システム「すぐー」で連絡させていただきました。「被害にあった」という連絡はなく安堵すると同時に、新聞やニュースの報道でみる現地の様子に心が痛みました。そして、その思いは、今も続いています。能登半島地震により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々の一日も早い復旧、復興を願います。



そんな中、1月17日を迎えます。6,434人という多くの尊い命を奪い、未曾有の大惨事となった阪神淡路大震災から、今年で29年。ずいぶん年月がたち、1月17日といってもピンとこない人も増えているかもしれません。私は、この時期になると、ともに教師を志し、大学で一緒に学んだ友人のことを思い出します。

その頃、私と友人は、神戸と西脇の地で、それぞれ新米教師として、日々子どもたちと奮闘していました。そんなある日、あの大地震が発生しました。その時、私にとって一生忘れることができない出来事が起こったのです。友人は、住んでいたマンションの倒壊により、亡くなりました。その年の8月には、新しい生命が誕生すると聞いており、友人の無念を思うと29年がたった今でも胸が痛みます。私には、いつも胸にとめている一文があります。

あなたが「何となく過ごした今日という日」は、

昨日亡くなった人が「生きていたいと願った日」なのです。

友人が子どもたちと共に過ごしたいと願った大切な一日一日を、私は今も生きることができています。私が今こうして生きている今日という日は、昨日、亡くなった人にとって、本当に生きていたいと願った一日であることを絶対に忘れないでいたいと思います。

命に軽重や優劣はなく、すべての命はかけがえのない唯一無二の存在。子どもたちには、夢や希望を叶えるために、今日という一日を大切に力いっぱい過ごしてほしいと願います。私自身も周りにいる一人一人の存在を大切にでき、何よりも命の尊厳を大事にする人でありたいと思います。

1月17日を迎えるにあたり、自分自身、そのような生き方ができているかどうか、自身の心の中をじっくりと見つめ直す機会とします。と同時に、阪神淡路大震災を経験した兵庫県内に住む一人として、経験を語り継ぎ、今後の災害への備えとしていかなければならないと思いを新たにしています。

♪ 3年生 ♪

3年生の学級目標は、「わ！～新たな発見・友だちとのつながり・やわらかな心～」です。

授業での新たな気づきである「わっ！」、友だちと協力してつながりあう「輪」、色々な人と接する中で心の成長につなげる「和」と、「3つのわ」を目標としています。勉強が分かりたい、友だちと協力したい、自分の心の成長につなげたいという願いをまとめて「わ！」にしました。

様々な行事を通して下級生の手本となる行動も増えたり、自分たちのやるべきことを黙々としたりする姿から、心が成長していることも感じられます。これからも、授業だけでなく普段の生活からも一生懸命考え行動し、自らの成長につなげていくよう頑張っていきます！



命と向き合い、命に対する温かい心を育む

性教育担当

様々な情報が飛び交う社会の中で、とても重要な教育の一つに性に関するものがあげられます。本校では、科学的な知識の理解を促すため、また、自他の命を大切にすることを育むために、各学年の発達段階に応じて『命の教育（性教育）』を進めています。

6年生は、助産師さんにお越しいただき、命の誕生についての講義をしていただきました。講義では、生まれる過程だけでなく、生まれて今、ここにいることが奇跡だということや、命と向き合う現場のお話もしていただきました。



講義後は、妊婦体験や模擬産道を通る体験、赤ちゃん人形の抱っこ体験に加え、乳幼児とそのお母さん、妊婦さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、『乳幼児ふれあい体験学習』もしました。乳児や幼児をだっこしたりあやしたりと貴重な体験をさせていただきました。

「生まれることは奇跡だと分かった。」「お母さんや妊婦さんの大変さがわかった。感謝したい。」「命の尊さを学んだ。大切にしたい。」「赤ちゃんがかわいかった。」そんな感想がたくさんありました。子どもたちにとって心に残る時間になったことはもちろん、命の尊さについて考えるきっかけになったのではないかと思います。

この命の教育を通して、自分たちの誕生が周りを笑顔にしたこと、ひとりひとりが大切な存在であると感じたことと思います。自分や周りの人たちを大切にできる温かい人になってほしいと願っています。



< 1月・2月の予定 >

(※毎週金曜日は職員定時退勤日です。)

日	月	火	水	木	金	土
14	15	16	17	18	19	20
			追悼集会 委員会活動	アフターステ イ		
21	22	23	24	25	26	27
子ども造形作品 展	児童集会 おかえり運動 (~26日)	PTA 合同委員会	一緒に帰ろう DAY! 14:45 下校	チェリー一班活動 アフターステ イ		PTCA 活動 西脇研究大会
28	29	30	31	2/1	2	3
			児童会役員選挙 クラブ活動	チェリー一班活動 黒中ジョイントクラス (6年生)	代表委員会	
4	5	6	7	8	9	10
	学年費口座振替 全校朝会		委員会活動	アフターステ イ SC 来校日		
11	12	13	14	15	16	17
建国記念の日	振替休日			チェリー一班活動 入学説明会	授業参観	